

第2次匠瑤市総合戦略 進行管理シート（令和4年度実績）

資料3

基本目標	1 ～そうさ!!匠瑤で働こう～ 地域における若者の雇用を創出する
関係課	農林水産課、商工観光課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
市内民営事業所従業員数	12,205人	12,400人	-	11,627人	-			-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	指標の現況及び実績は「経済センサス」に基づく。 市内民営事業所従業員数の増加に向けては、市の様々な分野における一体的な産業振興が必要となる。そのため、下記具体的施策に掲げた事項をバランスよく推進していく必要がある。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	今後も具体的施策を推進していくとともに、産業間の連携についても視野に入れながら取り組んでいく。							

2 具体的施策とKPI

(1) 農林水産業の活性化

① 「日本有数の植木のまち」の推進

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
1 植木の輸出相手国・地域数	13か国・地域	18か国・地域	13か国・地域	13か国・地域	13か国・地域			△
2 千葉県植木銘木100選登録数	60本	70本	68本	71本	74本			◎
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	1 輸出入取引実績のある国と地域は、中国、香港、台湾、ベトナム、シンガポール、韓国、イタリア、ドイツ、フランス、チェコ、トルコ、ロシア、ウクライナである。 新型コロナウイルスの影響により海外での展示即売会が中止となり、海外バイヤーの渡航も無くなってしまったことから、輸出地域数は伸び悩んでいる。 また、輸出は各国・地域の検疫制度や世界情勢など、生産者や市では対応が困難な外的要因の影響を大きく受ける。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	2 千葉県植木銘木100選は、卓越した技術で仕立て上げられた植木を銘木として千葉県が認定する制度である。 令和4年度は、植木生産者から申請のあった植木3本が銘木として認定された。							
	1 引き続き輸出についての情報収集や、生産者に対する財政支援等を行う。							
2 今後も植木組合等と連携し、新たな候補木の申請を継続していく。								

② 農業従事者の確保

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
3	認定農業者数	273件	280件	242件	241件	235件			△
4	認定新規就農者数	3件/年	4件/年	0件/年	1件/年	2件/年			△
5	海匠農業経営体育成セミナーの新規受講者数	4件/年	5件/年	3件/年	4件/年	1件/年			△
6	農地利用集積面積	431ha	804ha	650.8ha	701ha	734.3ha			○
KPI実績値に対する課題等		<p>3</p> <p>認定農業者は、農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村から農業経営改善計画の認定を受けた農業者である。No.4の認定新規就農者と同様、今後の地域農業の担い手となる意欲ある農業者として期待されている。 農業者の高齢化や後継者不足による労働力不足及び設備投資への負担により、認定農業者数が減少している。 認定制度や支援制度のPR等により、認定期間満了者の更新及び新規認定者の確保を図っていく必要がある。</p> <p>4</p> <p>認定新規就農者は、農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村から青年等就農計画の認定を受けた農業者である。No.3の認定農業者と同様、今後の地域農業の担い手となる意欲ある農業者として期待されている。 農業事務所、農業協同組合、農業会議等の関係機関と連携しながら新規就農の掘り起こしを進めているが、就農者数は減少傾向にある。 認定制度や支援制度のPR等により、認定新規就農者の確保を図っていく必要がある。</p> <p>5</p> <p>海匠農業経営体育成セミナーは、海匠農業事務所が開催する青年就農者向けの通年講座である。 農業事務所、農業協同組合、農業会議等の関係機関と連携しながら新規就農の掘り起こしを進めている。 数に増減の波があり、農家数が減少している中で、就農者数は減少傾向にある。</p> <p>6</p> <p>農地利用集積制度は、地域農業の担い手に農地を集積する制度である。農業経営基盤強化促進法に基づき、千葉県農地中間管理機構（農地バンク）を通じて担い手への集積を図る「農地中間管理事業」や、利用権の設定・所有権の移転を推進している。一方で、担い手総数は減少していることから、農地利用集積面積の大きな増加とはなっていない。</p>							
今後の方針等		<p>3</p> <p>認定農業者制度のPRによる新規認定者の確保及び経営改善計画の策定支援や経営改善への取組に対する相談・支援活動により認定期間満了者の再認定を促す。</p> <p>4</p> <p>認定新規就農者制度のPRによる新規認定者の確保及び就農計画の策定支援や経営改善への取組に対する相談・支援を行う。</p> <p>5</p> <p>農業後継者新規就農支援制度のPRと、県農業会議との連携を図るとともに、移住・定住施策等と連携しながら、新規就農者と制度利用者の掘り起こしに努める。</p> <p>6</p> <p>利用権の終期に係る更新案内を徹底するとともに、農地中間管理事業等の関連制度の周知・活用を図り、農地利用集積面積の拡大を目指す。</p>							

③ 農業の企業経営化の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
7	複合経営に取り組む農家(事業体)数	154件	200件	141件	134件	121件			△
KPI実績値に対する課題等		<p>7</p> <p>市内の複合農家は、水稲経営との複合経営に取り組む農家が主である。 近年、水稲経営については、小規模農家から水稲専作の大規模経営体への経営委託が増加傾向にあるため、進捗は芳しくない。</p>							
今後の方針等		<p>7</p> <p>水稲複合農家の大幅な増加は見込めないため、それ以外の複合経営について、関係機関と連携し推進していく必要がある。</p>							

④ 農林水産物の高付加価値化・高収益化の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
8	6次産業化に取り組む農家(事業体)数	17件	20件	22件	22件	22件			◎
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		8 6次産業化は、生産から加工・流通（販売）までを一体的に行う農業経営である。既にKPIを達成している。その一方、6次産業化に取り組む農家数は、近年横ばいの状況が続いており、大きな動きがみられない。							
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		8 海匠農業事務所や6次産業化サポートセンターなど、県の機関と連携し、6次産業化や農工商連携を志す農業者への積極的な支援を行っていく。							

(2) 産業振興及び産業間連携の推進

① 地域外からの企業誘致の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
9	地域外からの企業誘致数	1件/年	1件	0件/年	0件/年	0件/年			△
10	企業誘致条例による奨励措置適用事業所件数	13件	20件	16件	17件	21件			◎
11	空き店舗等活用支援数	6件/年	14件/年	4件/年	4件/年	4件/年			△
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		9 空き用地の不足により、新たな企業誘致が積極的に行えていない。							
		10 「企業誘致及び雇用促進に関する条例」による奨励措置を行った。更なる制度周知を図る。							
		11 空き店舗等活用支援として店舗改装費及び店舗賃借料の補助を実施している。制度の認知度が高くないことが課題である。							
KPI実績値に対する課題等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		9 産業用地整備推進事業等を通じて、産業用地の確保に努める。							
		10 市内の事業者団体等へ、更なる制度周知を図る。							
		11 匠瑳市商工会と連携し、より多くの人に認知されるよう周知活動を進める。							

② 起業支援の推進

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
12	創業者数	7件/年	13件/年	6件/年	2件/年	2件/年			△
13	経営相談指導件数	2,569件/年	2,800件/年	2,492件/年	2,200件/年	2,200件/年			○
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>12 匠瑤市創業支援等事業計画に基づき、創業資金利子補給金制度や空き店舗活用支援補助金を通して創業者支援を行った。また、商工会と連携をして創業塾を開催することで創業希望者の意欲向上につなげた。</p> <p>13 市で起業等に係る相談を受けた際に、必要に応じて商工会が実施する創業支援事業等を紹介し、商工会での経営相談指導へとつなげた。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>12 創業塾の周知を図り、参加者を増加させる。また、創業塾等による経営ノウハウの取得等を通して、年間起業者の増加を図る。</p> <p>13 引き続き、商工会等と連携し、創業や経営の安定化に向けた支援を行う。</p>							

③ 就労支援の充実による雇用の創出

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
14	市内企業と若者のマッチング支援による就職者数	0人	10人	4人	0人	1人			△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>14 匠瑤市雇用促進協議会と連携し、中途採用者向けの説明会・面接会を実施した。新型コロナウイルスの影響で開催は一度だけであった。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>14 昨年まで実施を見送っていた新卒採用者向け企業説明会等を通して若者の就労支援に努める。</p>							

④ 中小企業の経営基盤強化

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
15	融資及び利子補給制度利用件数	215件/年	250件/年	194件/年	146件/年	141件/年			△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>15 新型コロナウイルス感染症により、国の融資制度が充実した影響で市の融資制度を活用する事業者が減少している。融資自体の利用者が減ったことで利子補給の申請者も減少している。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>15 制度自体の見直しを図り、より使いやすい制度になるよう検討を重ねる。</p>							

⑤ 効果的な観光情報の発信

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
16	観光ガイドブックによるおすすめルート設定数	9ルート	10ルート	11ルート	11ルート	11ルート			◎
17	匠瑳市をロケ地とする映画・番組数	6本/年	10本/年	1本/年	6本/年	9本/年			○
18	歴史的建造物などを活用したイベント開催件数	2回/年	3回/年	0回/年	0回/年	3回/年			◎
19	匠りの里観光案内所利用者数	2,012人/年	2,200人/年	1,680人/年	1,788人/年	2,768人/年			◎
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		<p>16 テーマごとのルートを設定し、ホームページに掲載。そうさ観光物産センター匠りの里やふれあいパーク八日市場で紙媒体の配布を実施。新聞広告でおすすめ散歩ルートの紹介。駅からハイキングでもルートを活用。</p> <p>17 映画や番組の制作会社及び千葉県フィルムコミッションから、撮影に関する相談があったもののうち、撮影に至ったものは9件であった。</p> <p>18 コロナ禍以前に実施していた飯高檀林新緑祭と飯高檀林コンサートを実施。その他、国内でも有数の陶芸家「葉山有樹」さんの展示会が行われた。</p> <p>19 年間の観光案内に加え、駅からハイキングや季節のイベントを実施。</p>							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		<p>16 引き続き、ルートの認知度向上や歩きたくなる仕掛けづくりを推進していく。</p> <p>17 映画・番組等の制作会社と、ロケ地となる施設との調整を行い、ロケ誘致に努める。また、撮影可能なロケーションのPRを実施していく。</p> <p>18 例年のイベントに加え予定外のイベントが開催され、目標は達成されたものの、引き続き「飯高檀林跡」ならびに他の歴史的建造物を活用したイベントの開催を検討する。</p> <p>19 匠瑳市観光協会及びNPO法人匠瑳市観光物産協会と連携し、施設の集客イベントを引き続き実施していく。</p>							

基本目標	2 ～そうさ!! 匝瑳で暮らそう～ 匝瑳市への定住促進を進める
関係課	企画課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
社会増減数		▲270人 (R2~R6)	▲146人	▲334人	▲441人			△
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	指標の実績は「住民基本台帳」に基づく。年度ごとの内訳は、令和2年が▲146人、令和3年が▲188人、令和4年が▲107人である。 下記具体的施策に掲げた事業を実施し数値目標の改善に努めてきたが、依然として人口減少に歯止めがかかっていない。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	引き続き、取組を継続するとともに、移住・定住促進に係る先進事例の研究等を通して、事業・取組の充実を検討する。							

2 具体的施策とKPI

① 定住・移住人口の確保

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
20 転入者マイホーム取得奨励金を活用した転入者数	508人	1,018人	622人	708人	755人			○
21 空き家バンク登録物件数	38件	50件	43件	44件	45件			○
22 空き家バンク成約物件数	13件	28件	17件	20件	21件			○
23 移住・定住相談件数	-	20件/年	11件/年	4件/年	30件/年			◎
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	20	転入者マイホーム取得奨励金は、住宅を取得した転入者に対して奨励金を交付する事業である。市民課窓口や移住相談会、移住イベント、移住パンフレット（本市の紹介や移住者の体験談、各種移住支援制度をまとめたもの）等様々な媒体を通して、事業周知を行った。令和4年度は22件の申請があり、本事業による転入者数は47人であった。						
	21	空き家バンクは、所有者から市に登録申込された空き家物件の情報を、物件利用希望者に提供する制度である。納税通知書に空き家バンクに関するチラシを同封したほか、空き家問題全般を所管する都市整備課と情報共有や連携を図りつつ、制度の周知や空き家対策を図った。 その結果、所有者からの相談や連絡は増えた。物件の状態や価格等の条件により、利用の見込みが少ない案件についての相談も多い。						
	22	物件に対する利用希望が寄せられているものの、買主負担の修繕が必要となる等の、物件状態や価格等の条件が買主と売主とで一致しないことにより、成約まで至らない例が多い。空き家バンクの制度や登録物件について、上記21のとおり周知した。 成約数のさらなる増加に向けては、登録物件数の増加、利用者のニーズに合った物件の提供（状態にこだわらず、安価な住宅を求める利用者が多い。）が課題である。						
	23	移住相談は、来庁相談、電話相談、イベントでの相談、ZOOMを使用したオンライン形式の相談を実施している。令和4年度の相談件数は8件である。 千葉県、県内自治体、関係団体等と連携し、移住・定住イベントを実施した。令和4年度は3回実施し、相談件数は22件であった。 相談件数の増加のためには、本市の認知度向上や、より多くの方の本市に対する興味・関心を高めていく必要がある。						

<p>今後の方針等</p> <p>（ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）</p>	20	<p>転入者マイホーム取得奨励金制度は、10年以上の居住意思を要件としていることや、同制度の利用者アンケート等から、事業による定着効果が高いことが伺える。 引き続き、関連する移住・定住支援施策と併せて、制度の周知と活用促進を図る。</p>
	21	引き続き、事業の周知を図る。
	22	引き続き、登録物件の周知を図るとともに、空き家所有者に対して利用者のニーズを伝える等、利用者のニーズに合った物件の提供に努める。
	23	引き続き、イベントや周知を通じて、匝瑳市の認知度向上と相談件数の増加を図る。

② 高校生のまちづくりへの参加

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
24	将来匝瑳市に居住する意思を持つ高校生の割合	7.7%	15.0%	-	-	-			-
<p>KPI実績値に対する課題等</p> <p>（ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ）</p>		<p>24</p> <p>例年、高校生がよかつべ祭りに参加する機会を提供していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、よかつべ祭り自体が中止となった。 千葉県海匠地域振興事務所や地元企業との連携により「地元企業との意見交換会」を実施し、地域の企業との意見交換やマッチングを行った。 「匝瑳市と高校生との意見交換会」を開催し、高校生からのまちづくりに関する提案について意見交換を行った。 地元産業や地域に対する理解を深めることは、将来の地元定着やUターンにもつながることから、今後も高校生が地域のことを知り、関わる機会の創出が必要である。</p>							
<p>今後の方針等</p> <p>（ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）</p>		<p>24</p> <p>若者が主な構成員となる団体等の地域づくり等の公共的な活動への後援等により、当該活動を支援し、若者の当該活動に対する参画を促進する。 また、今後も、ボランティア情報等の情報提供や、よかつべ祭りへの参加を継続するとともに、高校生が本市を知り、親しみを持てるよう、高校生が参加できる事業を増加させる。 地元企業との意見交換会や、市長との意見交換会等を通じて、高校生が地域のことを知り、学ぶ機会を創出する。 高校等との協働により、「自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力」の育成の一環として市民提案型事業（子どもまちづくり提案型）の提案の促進や、まちづくりへの意見の提案等ができる環境を整える。</p>							

③ 生涯活躍のまちづくり

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
25	事業地内のサービス付き高齢者向け住宅に移住した各年度末時点の移住者数	-	30人	0人	14人	17人			○
26	事業地内の施設において、新たに雇用された各年度末時点の労働者数	29人	48人	117人	143人	172人			◎
27	市及び事業主体に移住相談を行った事業地内のサービス付き高齢者向け住宅への移住相談者数	16人	120人	66人	161人	206人			◎
28	事業地内の地域交流拠点施設に設置する農産物直売所（ミニスーパーマーケット）における農業就業者1人当たりの年間収入額	-	600千円	-	-	-			-
KPI実績値に対する課題等 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 </div>		25	サービス付き高齢者向け住宅は、令和4年2月に運営を開始した。令和4年度末での入居者数は48人であり、うち移住者は17人である。						
		26	事業地内の3施設（認定こども園、特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅）において新規雇用が行われ、既にKPIを達成済みである。						
		27	事業周知や移住希望者への情報提供の拡充を図るため、同法人が都市部住民に向けたPR・プロモーション活動としてパンフレットを作製し、配布した。移住相談会において、事業周知を行った。サービス付き高齢者向け住宅の入居者募集の開始に伴い、相談件数は大幅に増加した。						
		28	新型コロナウイルス感染症の影響により施設の整備・運営に遅れが生じており、農産物直売所は開設準備中である。						
今後の方針等 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 </div>		25	新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス付き高齢者向け住宅の運営開始は令和4年2月までずれ込むこととなったが、運営開始後は入居者数は順調に推移しており、今後のKPI達成が見込まれる。引き続き、PR・プロモーション活動・体験会等の実施、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と新しい生活様式に基づいたサービス提供による安全と安心の確立、お試し住宅と暮らしの相談窓口を通じた生活相談体制の確立等を通じて、移住希望者への周知や移住の機運をより高めていく。						
		26	KPIは達成済みであるが、事業地内の施設運営が本格化し始めることから、新規雇用は今後もさらに増加する見込みである。						
		27	KPIは達成済みである。上記25のとおり、引き続き、移住希望者への周知や移住の機運をより高めていく。						
		28	農産物直売所の開設に向けて、引き続き農業者団体・農業者等と意見交換や協議を支援する。						

基本目標	3 ～そうさ!!匠で育てよう～ それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす
関係課	福祉課、健康管理課、学校教育課、企画課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
合計特殊出生率	0.98	1.62	1.10	1.16	-			-
数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	指標の現況及び実績は「千葉県合計特殊出生率の推移（市町村別）」に基づき、令和5年6月現在、令和3年までの結果が公表されている。 下記具体的施策に掲げた事業を実施し、結婚・出産・子育て等、それぞれのライフステージに合わせた支援を行った。							
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	引き続き各施策の実施・充実に努めるとともに、ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。							

2 具体的施策とKPI

① 子育て世代のコミュニケーションの充実

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
29 年間つどいの広場利用者数	6,599人/年	9,000人/年	3,158人/年	4,785人/年	5,671人/年			△
30 子育てサークル数	1サークル	2サークル	0サークル	0サークル	0サークル			△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 	29	コロナ禍であったが、毎月の遊びの会（講習会）も概ね予定通りに開催できたことから、利用者数も増加傾向にある。						
	30	子育て中の保護者のために、仲間作りや集える場所の提供を行っているが、子育てサークルの設置には至っていない。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 	29	ホームページ等を随時更新しながら更なる事業内容の周知に努める。また、利用者の要望を参考に新たな講習会等を実施するほか、福祉課・健康管理課に開設している子育て世代包括支援センターにおいて、つどいの広場の周知を図り、利用を促進する。						
	30	サークル活動にこだわらず、保護者の自主的活動の支援に努める。子育て世代包括支援センターにおいてサークル活動の紹介、参加促進を図る。						

② 子育て世代の負担軽減

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
31	病児・病後児保育実施か所数	0か所	1か所	0か所	0か所	0か所			○
32	一時保育実施か所数	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所			◎
33	障害児保育実施か所数 (助成か所数)	12か所 (0か所)	12か所 (8か所)	12か所 (0か所)	12か所 (1か所)	12か所 (1か所)			○
34	育児休業取得率	男性2.8% 女性42.7%	男性10.0% 女性50.0%	—	—	—			—
35	子育てについて不安や負担を感じる人の割合	4.3%	3.0%	—	—	—			—
KPI実績値に対する課題等 (実施事項 実績値の要因 課題)		31	病児・病後児保育事業は、看護師等の人材確保に加えて、協力医療機関等の選定が不可欠であることから、旭匠瑛医師会等との調整が必要である。						
		32	潜在的なニーズの有無の把握及び事業実施に係る市民周知の拡大に努める。						
		33	保育士が利用児の成長に合わせた特性を理解し、対応して行くことが必要であることから、継続した研修が必要である。						
		34	出典は「第2次匠瑛市子ども・子育て支援事業計画のアンケート」である。令和2～4年度は本件に関する調査等が行われていないため、実績等はない。 育児休業取得率の向上に向けて、関係課と連携し市内公共施設等にポスター及びチラシを配布したほか、市ホームページを通じて情報提供を図った。						
		35	出典は「第2次匠瑛市子ども・子育て支援事業計画のアンケート」である。令和2～4年度は本件に関する調査等が行われていないため、実績等はない。 本基本目標に掲げた具体的施策や、第2次匠瑛市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策を推進・実施した。						
今後の方針等 (取組方針 実施予定事項 課題解決方法)		31	事業実施を希望している、小規模保育園実施事業者との調整を図るとともに、併せて従前から話を進めている、社会福祉法人九十九里ホームと情報を共有しながら、引き続き当該事業の実施に向けて交渉していく。						
		32	今後も私立保育園(所)7園及び認定こども園1園において、一時保育を実施していく。(実施施設：椿海保育園、共興保育園、須賀保育園、平和保育所、匠瑛保育園、東保育園、栄保育園。あかしあこども園)						
		33	今後も公立・私立保育園(所)及び認定こども園(公立：4園、私立：7園、こども園：1園)において障害児保育を実施していく。						
		34	既存の取組のほか、匠瑛市雇用促進協議会等を通じた事業者への制度周知を検討する。						
		35	引き続き、基本目標に掲げた具体的施策や、第2次匠瑛市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策を総合的に推進し、子育てについての不安や負担の軽減に努める。						

③ 子どもたちの遊び場の確保

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
36	放課後児童クラブ実施か所数	12か所	12か所	12か所	12か所	12か所			◎
KPI実績値に対する課題等 （ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ）		36 児童の安全や衛生確保のための施設環境の改善を行った。 また、支援員等を増やし適切な配置及び活動内容の工夫により、受入れ児童数の増加への対応を行い、より充実した活動を実施している。							
今後の方針等 （ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）		36 市内利用希望児童数を把握するとともに、今後の児童数の予想を参考にしながら、適切な児童クラブ数を維持又は拡大する。 ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。							

④ 安心して子どもを産み、育てるための環境づくり

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
37	積極的に育児をしている父親の割合	57.4%	60.0%	65.20%	64.60%	69.90%			◎
38	子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思う市民の割合	63.2%	70.0%	-	-	52.4%			△
KPI実績値に対する課題等 （ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ）		37 母子健康手帳交付時や各乳幼児健康診査等の際に、父親の育児参加についての必要性について伝えているため、目標値に向け進捗できている。							
		38 数値目標の出典は「第2次匠瑳市総合計画策定のための市民意識調査」である。 第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画に掲げている施策の1つである、「子育て家庭への支援」として各種サービスの充実に努めている。							
今後の方針等 （ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）		37 引き続き、妊婦（母）や夫（父）との面接機会（母子健康手帳交付時、両親学級時、乳幼児健診や相談、訪問時）に父親の育児参加協力の必要性を説明していく。							
		38 引き続き、第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策の推進に努め、基本目標である「子育てをみんなで支えるまちづくり」の実現に向けて、各種サービスの更なる充実に努める。							

⑤ 婚活支援の充実

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
39	出会いの場参加者数	68人/年	80人/年	0人/年	0人/年	10人/年			×
40	婚活サポーター数	4人	10人	4人	4人	4人			△
KPI実績値に対する課題等 （ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ）		39 出会い創出事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和4年度はオンライン形式で婚活イベントを実施した。 また、飲食を伴わないリアルイベントとして、パークゴルフ場での婚活イベントを企画したが、参加者のキャンセルが多く中止となった。							
		40 平成29年8月に婚活サポーター制度を創設し、4名の婚活サポーターを委嘱している。 今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。							
今後の方針等 （ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ）		39 コロナ禍での安心で安全な婚活イベント等の開催について検討する。							
		40 婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続する。							

基本目標	4 ～そうさ!! 匠瑳でつながろう～ 地域との多様な連携を進める
関係課	環境生活課、商工観光課、農林水産課、企画課、生涯学習課

1 数値目標

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
協働によるまちづくりが推進されていると思う市民割合	24.2%	28.5%	-	-	17.5%			△
数値目標実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題	平成27年度に匠瑳市市民協働指針、匠瑳市市民協働推進条例を定め、平成28年度から同条例を施行する等、下記の具体的施策に掲げた取組をはじめ、各課の事業や市民協働推進の主管課である環境生活課での各種事業（市民提案型事業に対する助成等）を通して、協働の理念が根付くよう努めている。							
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法	今後も、協働について庁内及び市民周知を図りつつ、市の様々な事業の中に協働という視点を盛り込むよう努める。							

2 具体的施策とKPI

① 多様な主体による連携・協働の促進

指標	現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
41 市民提案型事業採択団体数	4団体/年	5団体/年	2団体/年	3団体/年	1団体/年			△
42 市内企業と若者のマッチング支援による就職者数（再掲）	0人	10人	4人	0人	1人			△
43 婚活サポーター数（再掲）	4人	10人	4人	4人	4人			△
KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題	41 市民提案型事業は、市民等が主体的に取り組む事業を募集し、優れた提案に対して費用の一部を助成するものである。令和4年度は、子どもまちづくり提案型の1団体（飯高特別支援学校）を採択した。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体が活動を自粛したこともあり、提案団体が少ない。							
	42 匠瑳市雇用促進協議会と連携し、中途採用者向けの説明会・面接会を実施した。新型コロナウイルスの影響で開催は一度だけであった。							
	43 平成29年8月に婚活サポーター制度を創設し、4名の婚活サポーターを委嘱している。今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。							
今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法	41 制度の周知に努め、提案団体の増加を図る。							
	42 昨年まで実施を見送っていた新卒採用者向け企業説明会等を通して若者の就労支援に努める。							
	43 婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続する。							

② 交流人口の増加

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
44	年間観光入込客数	999,039 人/年	1,020,000 人/年	672,322 人/年	698,574 人/年	699,094 人/年			△
45	宿泊客数	6,329 人/年	7,000 人/年	5,652 人/年	5,488 人/年	7,836 人/年			◎
46	農業体験・交流イベント参加者数	416人/年	700人/年	65人/年	76人/年	260人/年			△
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		44	コロナ禍が原因で、例年の観測地点の一部が入込客数調査の対象施設としての要件を満たさなくなり、観測地点が減少した。飯高檀林跡観光案内所が水曜日定休日になり、定休日の入込数が計測できなくなった。イベントは中止または縮小して実施された。						
		45	近年のキャンプブームによりキャンプ場の宿泊客数はコロナ禍以前より増加している。学生の長期休暇期間の合宿等の宿泊施設の利用はまだ回復していない。						
		46	新型コロナウイルス及び悪天候により、都市農村交流事業のイベントが中止となった。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		44	飯高檀林跡の入込客数の把握手法の見直しを行う。各地点を周遊させる取組や、魅力あるイベントを実施する。						
		45	宿泊業を営む企業の固定資産税免除措置等により、宿泊施設の誘致を図る。						
		46	新しい生活様式に対応した食育体験事業や都市農村交流事業等を計画し、イベントの実施・継続に向けた体制づくりを図る。						

③ シティプロモーション活動の推進と関係人口の増加

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
47	移住・定住相談件数（再掲）	-	20件/年	11件/年	4件/年	30件/年			◎
KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 		47	移住相談は、来庁相談、電話相談、イベントでの相談、ZOOMを使用したオンライン形式の相談を実施している。令和4年度の相談件数は30件である。 千葉県、県内自治体、関係団体等と連携し、移住・定住イベントをオンライン形式で実施した。 相談件数の増加のためには、本市の認知度向上や、より多くの方の本市に対する興味・関心を高めていく必要がある。						
今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 		47	引き続き、イベントや周知を通じて、匝瑳市の認知度向上と相談件数の増加を図る。						

④ スポーツを軸とした連携と交流づくり

指標		現況 (H30)	目標 (R6)	実績 (R2)	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	進捗度
48	スポーツ教室への参加者数	4,660 人/年	5,000 人/年	3,120 人/年	3,804 人/年	3,845 人/年			○
49	パークゴルフ場利用者数	-	24,000 人/年	8,174 人/年	11,489 人/年	12,014 人/年			○
KPI実績値に対する課題等 () ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題		48	新型コロナウイルスの影響により中止となっていた教室が開催され、全体としては参加者の増加がみられた。 新規教室として、弓道教室やバイタルフィット教室を開催したが、さらなる増加のために、従来の教室の工夫や新規教室の開催を今後も実施していく。						
		49	令和4年度は12,014人の利用があった。四季ごとにシーズン大会を実施した。また、大会をオープン大会としたことで参加者の増加がみられたため、今後も継続していく。						
今後の方針等 () ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法		48	スポーツ教室の周知・企画を今後も実施していく。						
		49	教室・講習会の実施や大会の企画等の利用者増加につながる施策を今後も実施していく。						

重要業績評価指標(KPI)の状況

令和5年3月現在

KPI全体の状況	◎	○	△	×	-	計
① 該当件数	14	11	19	1	4	49
② 率(%)	28.57	22.45	38.78	2.04	8.16	100

◎+○ 件数 25件 率 51.02 %

基本目標1 ~そうさ!!匠で働こう~ 地域における若者の雇用を創出する	◎	○	△	×	-	計
	6	3	10	0	0	19

(1)農水産業の活性化	◎	○	△	×	-	小計
	2	1	5	0	0	8
① 「日本有数の植木のまち」の推進	1		1			2
② 農業従事者の確保		1	3			4
③ 農業の企業経営化の推進			1			1
④ 農林水産物の高付加価値化・高収益化の推進	1					1

(2)産業振興及び産業間連携の推進	◎	○	△	×	-	小計
	4	2	5	0	0	11
① 地域外からの企業誘致の推進	1		2			3
② 起業支援の推進		1	1			2
③ 就労支援の充実による雇用の創出			1			1
④ 中小企業の経営基盤強化			1			1
⑤ 効果的な観光情報の発信	3	1				4

基本目標2 ~そうさ!!匠で暮らそう~ 匠市への定住促進を進める	◎	○	△	×	-	計
	3	4	0	0	2	9

① 定住・移住人口の確保	1	3				4
② 高校生のまちづくりへの参加					1	1
③ 生涯活躍のまちづくり	2	1			1	4

基本目標3 ~そうさ!!匠で育てよう~ それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす	◎	○	△	×	-	計
	3	2	4	1	2	12

① 子育て世代のコミュニケーションの充実			2			2
② 子育て世代の負担軽減	1	2			2	5
③ 子どもたちの遊び場の確保	1					1
④ 安心して子どもを産み、育てるための環境づくり	1		1			2
⑤ 婚活支援の充実			1	1		2

基本目標4 ~そうさ!!匠でつながろう~ 地域との多様な連携を進める	◎	○	△	×	-	計
	2	2	5	0	0	9

① 多様な主体による連携・協働の促進(再掲2件)			3			3
② 交流人口の増加	1		2			3
③ シティプロモーション活動の推進と関係人口の増加	1					1
④ スポーツを軸とした連携と交流づくり		2				2

備考

◎・・・目標達成

○・・・順調に進捗

△・・・あまり進捗していない

×・・・戦略策定時を下回った・未実施

-・・・未判定(判定方法の実施時期ではない、等)

※ 数値及び取組内容等を総合的に判断